

## 2015年度 英米文学英語学会会計報告

(2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,121,759 円	「英米文学英語學論集」第3号印刷代	378,000 円
特別会費	45,000 円	郵送料	50,435 円
学生会費	454,000 円	事務用品費	498 円
學論集抜き刷り代(執筆負担分)	6,000 円	雑費(振込料・文具)	1,091 円
利息	297 円	次期繰越金	2,197,032 円
合 計	2,627,056 円		2,627,056 円

2015年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

### 執筆者紹介

谷口義朗 (本学教授) 野口メアリー (本学教授) 干井洋一 (本学教授)

### 査読編集委員会

Fred E. Anderson (本学教授) 高橋美帆 (本学教授) 谷口義朗 (本学教授)

\*鍋島弘治朗 (本学教授) 干井洋一 (本学教授)

\*編集代表

## 学 会 開 催 報 告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2016年10月22日(土)13時より関西大学第1学舎1号館 A602・603にて行われました。詳細は以下のとおりです。

### [卒論構想発表会]

A602

青木 奈々(野口ゼミ)「否定的評価における日本人とアメリカ人の対応の違い」

司会 野口メアリー

阿部瑛里奈(岩田ゼミ)「擬似目的語をとる結果構文について」

司会 岩田彩志

南 由紀子(Andersonゼミ)「日本の英語教育におけるスピーキングスキルについて」

司会 Fred E. Anderson

掛 真太郎(岩田ゼミ)「中間構文と主語の責任性について」

司会 岩田彩志

A603

藤方 佑美(秋元ゼミ)「『カッコーの巣の上で』における視線 —— 見ること／見られること ——」

司会 秋元秀紀

竹田 裕子(高橋ゼミ)「テニスと海」

司会 高橋美帆

### [研究発表]

A602 英語学

Oh Youngmin (D2)「イディオム構文の対照研究—日英の比較関連構文の再考察—」

司会 Richard Donovan

中野阿佐子 (D3)「メタフォリカル・パターン・アナリシス再考」

司会 Fred E. Anderson

A603 英米文学

指出 尚枝 (M1)「『アモレットィ』における thou の一例について —— ソネット5の場合 ——」

司会 高橋美帆

### [講演]「懸垂分詞のメタ言語使用」 講師 早瀬 尚子<sup>1</sup>

司会 岩田 彩志

---

<sup>1</sup>大阪大学大学院言語文化研究科准教授

---

### 【編集後記】

関西大学英米文学英語学論集も第6号を迎えた。今回は論文も3篇の応募があり、今後の研究のさらなる発展が期待される。